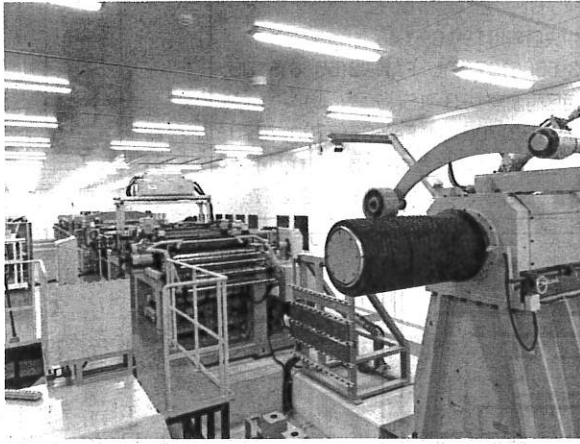


J F E 商 事 ブリキセンター

全レベラー・クリーン化

新加工体制 大型投資が完了



第1事業所のレベラー（クリーンルーム）



清末社長

同社は、18号缶・ペ
ール缶・一般缶向けの
ブリキ・ティンフリー

J F E 商事ブリキセンター（本社）大阪府大東市、清末浩史社長は、新工場建設を伴うレベラーラインの移設・集約と「クリーンルーム化」など、2018年度から進めてきた一連の大型投資計画を概ね完了し、新たな加工体制が整った。J F E グループの中核ブリキセンターとして、安全・品質・生産性をさらに高めている。

スチール・表面処理鋼板のレベラー加工・販売や金属印刷を行っている。関西地区の2事業所と東京営業所（東京都千代田区、J F E 商事ビル内）の拠点を持つ。計画は、新たに取得した土地（大東市新田旭町6-2）に工場を建設し、大阪府松原市にあった旧松原工場の機能を移転、レベラーラインを1ライン減の3ラインに集約するとともに、全ラインを「クリーンルーム化」し、さらに表裏面検査装置を導入するもの。

新工場は本社・第1事業所となり、2019年5月に竣工式を行った。第1事業所には移設・新設と合わせてレベラー2ラインが稼働。以前の本社工場は第2事業所として、レベラーラインと印刷・塗装の各ラインが引き続き稼働する。

クリーンルーム化は、第1事業所の2ラインと第2事業所の1ラインで実施した。ホコリや異物の混入を極限まで防ぎ、品質レベラーをさらに高め、顧客ニーズに対応する。新設した第1事業所は最新鋭レベラー（加工板厚0・15-0・6ミミ）を加えて、加工・搬送に至るトータル品質向上を実現した。また加工時だけでなく、コイルの入荷と製品出荷時にも大幅にクリーン化できる方式を取り入れた。

第2事業所（大東市御領3-7-3）も、第1事業所に続いて、既存のレベラーラインのクリーンルーム化と必要な一部設備の改造工事を実施した。第1・第2事業所は1キロメートルの距離で近接しており、地区2事業所の一体運営を図っておも高まっている。